
Cassina ixc. 和催事 第6弾 特別展示「日本の花とうつわ」展 開催

株式会社カッシーナ・イクスシー（本社：東京都港区、代表取締役社長：森 康洋）は、2016年7月21日（木）より、和の特別展示「日本の花とうつわ」展を開催いたします。

花を愛でる習慣はどの国も共通であり、贈り物やもてなしの席に欠かせないものとなっています。自然の草花を空間の中でしつらえるという行為は、日本では茶の湯と共にいけばなとして発展し、独自の芸術にもなりました。

カッシーナ・イクスシーでは、現代のライフスタイルに合ったモダンなインテリア空間と、「竹籠」や「茶器」、「書」など日本の伝統的なアイテムを組み合わせたコーディネートを展開する特別展示を行ってまいりましたが、6回目となる今回は「花器」に着目し、骨董、竹籠、陶器、ガラスなど様々な和の花器、花入れを和花の装花とともにご紹介いたします。

■会期

青山本店、名古屋店：2016年7月21日（木）～8月9日（火）

大阪店、福岡店：2016年8月18日（木）～9月6日（火）

是非ご覧賜りますようお願い申し上げます。



【作品、作家一覧】

杉田明彦（漆作家）

1978年 東京都生まれ。学習院大学文学部哲学科中退。

手打蕎麦店での修業の後、07年に輪島へ。塗師 赤木明登のもとで修業、2013年より独立。現在、金沢で活動中。シンプルなフォルム、渋みのある色味が静かな味わいを感じさせる作品。



瀬沼健太郎（ガラス作家）

1972年東京都生まれ。多摩美術大学美術学部デザイン科卒業後、金沢卯辰山工芸工房研修者、富士川ガラス工房等を経た後、2010年より独立。和の心を感じさせるガラス花器が魅力。



【作品、作家一覧】

西川 聡 (陶器)

1967年愛知県生まれ。武蔵野美術工業大学デザイン学科卒業。92年に初個展を開催。様々な陶磁器、クラフト展での入選を経てスペインで製作活動を行う。その後アフリカ、中東を放浪し見識を深めた後、2004年に湯河原に工房を構える。プリミティブな土の質感と渋み、味わいのある色味が魅力。



斎藤正光 (竹籠蒐集家)

日本有数の竹工芸蒐集家、研究家。国内外の様々な竹工芸展覧会のコーディネーターにも携わる。カッシーナ・イクスシーでは、2013年「竹籠展」に引き続き今回も同氏監修による花籠類を展開。

